

## その他の成果の活用事例

### 1 競争参加資格審査における企業評価の見直しについて

企業の実績や努力が請負者の選定に適切に反映される仕組み（良い循環）を構築するために、次回（2009・2010年度）の競争参加資格審査に向けて、工事規模と技術的難易度の2軸による発注標準の区分と競争参加機会の拡大、工事成績評定の重視等技術力をより重視した技術評価点数の算定式等について、業界等からの意見等を踏まえるとともに、最新の資格審査データ等を用いてシミュレーション分析・検討を実施し、具体的手法を提案した。

総合技術政策研究センター

建設マネジメント技術研究室長 笛田 俊治、主任研究官 塚原 隆夫、交流研究員 毛利 淳二

### 2 設計・施工一括発注方式及び詳細設計付工事実施マニュアルの策定

国土交通省においては、公共工事の調達にあたり設計と施工を分離することを原則としてきたが、設計・施工一括発注方式及び詳細設計付工事を適用することで、設計の品質確保、合理的な設計、設計・施工の効率化等効果が得られると期待される橋梁、水門設備、電線共同溝等を対象に、実施上の留意事項である発注者と受注者におけるリスク分担の設定の考え方、リスクの顕在化時の対応の方法等を取りまとめ、設計・施工一括発注方式及び詳細設計付工事実施マニュアルとしてとりまとめた。

総合技術政策研究センター 建設マネジメント技術研究室長 笛田 俊治、主任研究官 宮武 一郎

### 3 発注者支援型CM方式事例集の作成

CM方式とは、発注者・受注者の双方が行ってきた様々なマネジメント（発注計画、契約管理、施工監理、品質管理等）の一部を、これまでとの発注方式とは別な方式で、別の主体に行わせる方式である。国土交通省直轄事業においては、2000（平成12）年度より試行されている。試行されたCM方式は、発注者を支援する方策として実施され、工事段階の監督体制を補完する目的で行われてきた。これらの事例を踏まえ、国土交通省直轄事業における発注者支援型CM方式の取り組みについて、今後のCM方式の導入の参考資料となるよう、事例集としてとりまとめた。

総合技術政策研究センター 建設マネジメント技術研究室長 笛田 俊治、主任研究官 宮武 一郎